

# ガセットの「すきま」と「すきま(面)」の違いを知りたい！

## ガセットの接続先によってすきまを設定できます。

継手マスターでガセットを登録する際、ガセットがウェブに溶接する場合とフランジに溶接する場合のすきまをそれぞれ設定できます。

【すきま】は、H形鋼のウェブからのすきま、コラム柱の仕口部分に取り付く際のすきまを設定します。

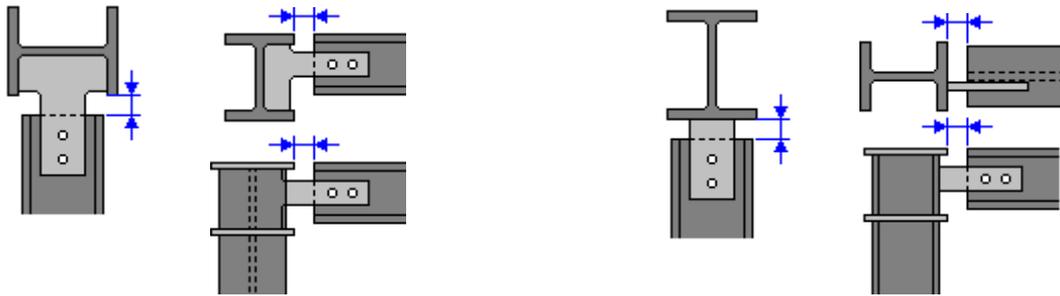
【すきま(面)】は、H形鋼のフランジからのすきま、コラム柱のシャフト部分に取り付く際のすきまを設定します。

<すきま>間柱

梁

<すきま(面)>間柱

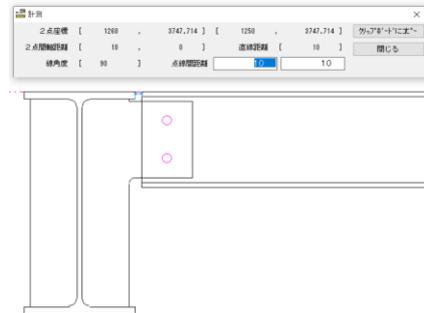
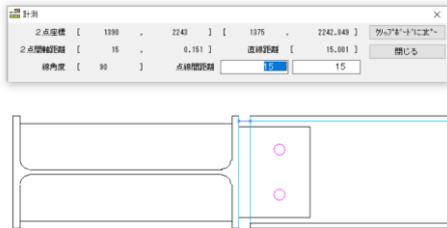
梁



例) すきま(面) : 15、すきま : 10 と入力したとき

・接続先がフランジの時 : すきま 15

・接続先がウェブの時 : すきま 10



柱の仕口部分にガセットが接続する際のすきまの基準はパラメーターで決まります。

【パラメーター】 - 【データ作成】 - 【35.柱、梁作成関連】 - 19) 仕口に取り付くピン梁の位置

1-下柱ダイヤから : 常に通しダイヤ面からのすきまになります

2-接続部材面 : ピン梁の梁背内に通しダイヤがある場合は通しダイヤ面、  
ない場合は柱面からのすきまになります

3-接続部材面 (下位互換用) : ピン梁のフランジ板厚が通しダイヤに当たれば通しダイヤ面、  
当たらない場合は柱面からのすきまになります

1.下柱ダイヤから

2.接続部材面

3.接続部材面 (下位互換用)

